



離婚しても

パパ、ママ、私たちを育ててね



2015

両親の離婚を経験する子どもたちが父母に望むのは、
「離婚の理由はどうでもよい。親が子に対してどう責任をとってくれるのか伝えてほしい」ということです。
たとえ別居親への思いをあからさまに示すことはなくても、心の底ではどちらの親からも愛してほしい、優しくしてほしい等々、受容を望んでいます。
離婚をした男女が、父母として我が子と向かい合う面会交流。親子になるという視点に立った子どもとの関わり方について、芹澤俊介先生に教えて頂きます。

日蓮宗助成金事業 いのちに合掌

後援/日蓮宗宗務院



【ゲスト】

芹澤 俊介 先生

1942年東京生まれ。主に家族、子ども、女性、犯罪、宗教、死などをテーマに批評文を書き続ける。1998年から養育論の構築を目指した「養育を考える会」を仲間と共に始める。この会は隔月で開催され、誰もが参加できる、養育をめぐる話し合いの場として今も持続されている。著書に『家族という意志』（岩波新書）、『「孤独」から考える秋葉原無差別殺傷事件』『宿業の思想を超えて—吉本隆明と親鸞』（批評社）『子どものための親子論』『養育事典』（編著 明石書店）千葉県我孫子市在住。

第1部 13時30分～14時15分
面会交流支援の現状報告

第2部 14時30分～15時30分
芹澤 俊介 先生
「面会交流を育児と捉えていますか？」

第3部 意見交流会

※対象者 面会交流支援者、育児支援者

2015. **5.24** (日)

- 会 場: 日蓮宗佛心寺 本堂
東京都台東区谷中1丁目5の35
- 時 間: 13:30～
- 参加費: 3,000円

FAX : 045 - 263 - 6563

参加申込書

*この用紙のまま FAX をお送り下さい

*申し込みの際に取得した個人情報は、本イベントの運用に係わる利用以外の目的では使用いたしません。

ふりがな
氏名

住所：

連絡先：

電話番号、メールアドレス

年齢：

職業：

立場（支援者/実務者 or 当事者/関係者 or その他一般）

フリースペース（ご意見、当日のご要望など ございましたら）